



平成 29 年 6 月 30 日
鉄道局安全監理官室

鉄軌道輸送の安全に関わる情報（平成 28 年度）を公表します

今般、平成 28 年度の「鉄軌道輸送の安全に関わる情報」を取りまとめました。

運転事故件数は、長期的には減少傾向にあり、平成 28 年度においても、前年度と比べて 12 件減少し、715 件でした。運転事故のうち、踏切事故の発生件数についても、長期的には減少傾向にあり、前年度と比べて 13 件減少し、223 件でした。一方、運転事故のうち、人身障害事故の発生件数は前年度と比べて 13 件増加し、429 件でした。

引き続き、一層安全な鉄軌道輸送を目指し、各種の安全対策を総合的に推進していきます。

国土交通省では、「鉄軌道輸送の安全に関わる情報」について、平成 18 年 10 月 1 日に施行された「運輸の安全性の向上のための鉄道事業法等の一部を改正する法律」により新たに加えられた鉄道事業法等の規定に基づき、鉄道運転事故等の報告、輸送の安全に関する行政指導の実施状況、安全に関わる鉄道施設の整備状況等について毎年度整理し公表しています。

平成 28 年度の主な事故等の発生状況の概要については、以下のとおりです。

【鉄軌道における運転事故】

踏切事故対策、自動列車停止装置（ATS）の整備・改良等を実施してきた結果、長期的には減少傾向にあり、平成 28 年度の事故件数は 715 件（対前年度 12 件減）、これによる死亡者は 308 人（対前年度 22 人増）、負傷者は 337 人（対前年度 2 人減）でした。

【踏切事故】

立体交差化や踏切保安設備の整備等を推進してきた結果、長期的には減少傾向にあり、平成 28 年度の事故件数は 223 件（対前年度 13 件減）、これによる死亡者は 97 人（対前年度 4 人減）、負傷者は 93 人（対前年度 31 人増）でした。

【人身障害事故】

平成 28 年度の事故件数は 429 件（対前年度 13 件増）でした。このうち、線路内立入り等による列車との接触によるものは 230 件（対前年度 23 件増）、ホームでの列車との接触によるものは 187 件（対前年度 11 件減）でした。

その他の概要については、添付資料をご覧ください。

※本文については、国土交通省鉄道局ホームページをご参照ください。

http://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_tk8_000001.html

【連絡先】

国土交通省 鉄道局 安全監理官室
担当 平石・陶山
代表 03-5253-8111(内40762)
直通 03-5253-8550/FAX 03-5253-1634